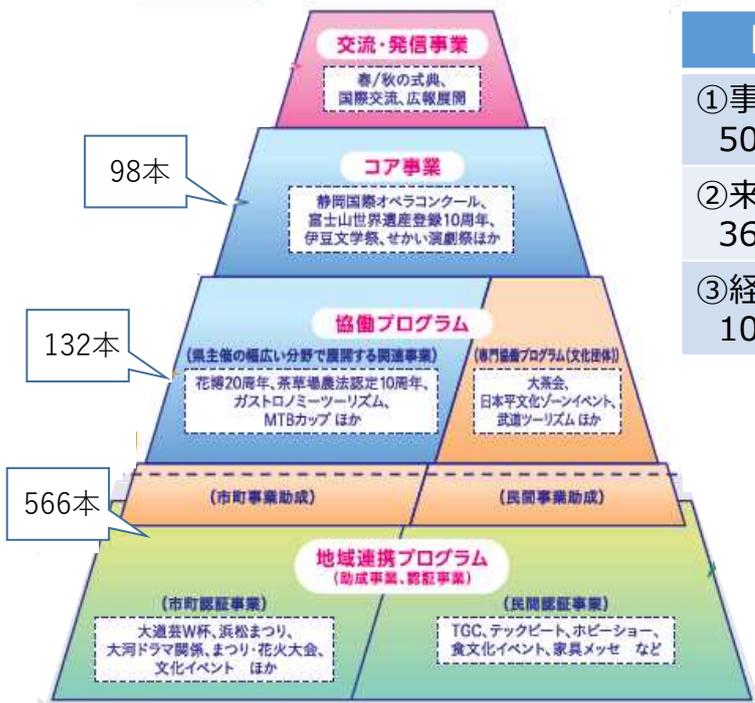


# いよいよコア期間！「東アジア文化都市2023静岡県」現状

東アジア文化都市2023静岡県 事業全体像図



## 事業の進捗状況（8月末時点）

目標数値	進捗状況	評価
①事業数 500本以上	認証数 796本	市町、民間への普及促進
②来場者数 360万人以上	終了事業概算 616万人	大きなイベントの集客が回復
③経済効果 100億円以上	—	上記より達成確実の見込み



<浜松まつり255万人>



<安倍川花火55万人>

## まだ認知度向上に向けた課題あり！

# いよいよコア期間（9月～11月）が始まります！！

秋版パンフレットを御覧ください！

- ・コア期間事業本数 約410本
  - ・うち118本を秋版ガイドに掲載
  - ・ホームページと併せて圧倒的な巨大プラットフォームをPR
- ⇒ ボリュームアピール戦略



東アジア文化都市の  
認知度UPへ！！

ここに掲載の他、年間を通じて  
500本以上のイベントを展開します。

詳細は  
HPまで

# コア事業・専門協働プログラムの紹介

**001 第9回静岡国際オペラコンクール**
音楽

日 時: 1次予選 2023年10月28日(土)~30日(月)  
2次予選 2023年11月1日(水)~2日(木)  
本選・表彰式 2023年11月5日(日)

会 場: アクトシティ浜松大ホール  
問合せ: 静岡国際オペラコンクール実行委員会事務局 TEL.053-457-6446

静岡国際オペラコンクールは、世界各国のトップクラスの若手オペラ歌手が、その歌唱力と演技力を競い合う、日本で唯一の世界レベルのオペラコンクール。本選では、東京交響楽団のオーケストラ演奏のもと、オペリアリアが披露される。



**002 伊豆文学祭**
文学イベント

日 時: 2023年10月14日(土)・15日(日)

会 場: アクシスカつらぎ  
問合せ: 静岡県文化政策課 TEL.054-221-3109

川端康成「伊豆の踊子」や井上靖「しらばね」など、多くの文豪が訪れ、数多くの作品の舞台となってきた伊豆地域。文学の地として名高い地域の特色を活かし、伊豆文学の魅力を伝えるフォーラムやシンポジウムなど、文学の祭典を開催。文学に浸れる2日間をご堪能あれ。



**025 SPAC秋～春のシーズン2023-2024 「伊豆の踊子」**
演劇・舞踊

日 時: 静岡公演 2023年10月7日(土)~11月9日(木)  
出演公演 2023年12月~3月予定

会 場: SPACチケットセンター  
問合せ: TEL.054-202-3399

川端康成の伊豆旅行体験を元にした作品を舞台化し、作中に登場する風光明媚な地の雄大な景色を演出に組み込み、新感覚の「観光演劇」としてお届け。



**014 超老芸術展**
美術

日 時: 2023年10月3日(火)~8日(日)

会 場: グランシップ 6F展示ギャラリー  
問合せ: アーツカウンシルしずおか TEL.054-204-0059

全国各地で人知れず創作を続ける高齢の芸術家を一室に集めた展覧会。会期最終日には、高齢者の芸術表現に関するフォーラムも開催。またメタバー上の展覧会空間も準備。



**003 ふじのくに芸術祭2023**
展示会・文学イベント

日 時: ~2024年2月18日(日)

会 場: 県内各地  
問合せ: 静岡県文化政策課 TEL.054-221-3109

いつでも、どこでも、誰でも、芸術文化に触れ、楽しむことができる県内最大の総合芸術祭。美術展、写真展、書道展では、高校生の特異な作品を感じる作品からベテランの技巧を凝らした作品まで、見どころのある作品が揃う。邦楽、合唱、舞踊、演劇、水石など、詳細はHPにて。



**012 別所哲也&東アジア文化都市2023静岡県プレゼンツ ショートフィルムで見る静岡県、ショートフィルムで知るアジアの文化**
映像

日 時: 2023年10月7日(土)・8日(日)

会 場: サールナートホール  
主 催: 東アジア文化都市2023静岡県実行委員会  
共 催: SHORTSHORTS (株式会社ビジュアルポイス)

多くの映像作品の舞台やロケ地となっている静岡県が、東アジア文化都市に選ばれた2023年、映像文化を発信するイベントを開催。静岡県出身で、自ら米国アカデミー賞公認、国際短編映画祭「ショートショートフィルムフェスティバル & アジア」の代表者として、日本の映像文化をリードしている俳優別所哲也氏の解説・提供により、アジア各国の多様なショートフィルム(短編映画)を堪能していただくプログラムを企画。





マップで伊豆・東部・中部・西部 各地区で万遍なく展開を表現！！

## 終盤に向けた広報展開

事務局では、東アジア文化都市2023静岡県をPRするために様々な広報活動を行なっています。

- TV放送**
  - とびっきり!しずおか土曜日版「文化が花開くふじのくに芸術回廊へ!」  
〈静岡朝日テレビ/毎週土曜〉
  - 静岡発そこ知り  
〈SBSテレビ/放送日調整中〉
- SNS**
  - 公式YouTube  
Weekly東アジア文化都市2023静岡県と題し、週末のイベント情報をニュース番組形式で紹介しています。
  - 公式Instagram  
イベント情報や耳寄りなお知らせを投稿しています。  
9月~11月にはハッシュタグキャンペーンも開催!

1時間番組で総括!

<これまで23本!>



職員の皆さんへ  
職員1人ひとりが東アジア文化都市広報マンに!  
東アジア文化都市2023静岡県実行委員会委員長  
出野 勉 (静岡県副知事) 2023/3/1

- Youtubeの先週、今週は・・・  
ドクトル・ケンリッジとポスターSPAC俳優の宮城島遙加さんとの対談を配信!
- 是非、視聴を!!

<ひとり1改革運動 9月の推進月間>

一人ひとりが広報マン!  
多様なヒトに届く情報発信  
職員全員で

「東アジア文化都市2023静岡県」を盛り上げよう!



## 国際交流の高まり（高校生交流）

### 夏からライブの国際交流も本格化！

- ・ 7月下旬に、高校生の交流が先陣を切り、全州市に日中韓が集って開催。
- ・ 全州市高校が来静し相互交流が実現



**さすが高校生  
すぐに仲良しに！**



## 国際交流の高まり（全州市との交流深化）

**・ 文化施設が数多く、一つひとつがすごい！  
→コア期間には、紙文化、工芸、食文化、サッカーで相互に交流イベントを予定**



**・ さすが、食文化創造都市！  
→とにかく美味しい。  
皆さんもぜひ訪れて。**



**静岡市との友好関係を促進中**

# フィナーレに向けて 「ふじの式典」、「シンポジウム」の開催

## 1 東アジア文化都市2023静岡県公式式典（ふじの式典） 12月3日（オークラアクトシティ浜松）

区分	内容
式典	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの成果報告（動画形式）</li> <li>・静岡県・中韓3都市代表挨拶</li> <li>・次期開催県引継ぎ</li> <li>・中韓3都市芸能（本県演目は特別公演として披露） ほか</li> </ul>
特別公演	<p>「“歓喜に至れ” ～ベートーベン第9による～」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総監督 宮城聡</li> <li>・企画監修 佐藤典子</li> <li>・出演 大前光市ほかダンサー、声楽家、SPAC、佐藤典子舞踊団</li> </ul>

・全州市は  
11/2に閉幕  
式典を開催

・中国都市  
は未定

## 2 東アジア文化都市シンポジウム ～静岡県の挑戦～（仮称） 12月23日（グランシップ）

東アジア文化都市2023静岡県を振り返り、今後の東アジア文化都市の新たな展開や、意義などを国内外に発信するため、有識者を招きシンポジウムを開催する。

区分	内容
シンポジウム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年の事業実績の発表</li> <li>・有識者（案）によるパネルディスカッション 溝畑宏氏、加藤種男氏、太下義之氏、宮城聡氏 他（予定）</li> <li>・知事による総括 ・静岡県からの提言</li> </ul>

# Let's go 東アジア文化都市2023静岡県



- ① 世界の協調・共生と平和の希求(欧州文化首都の理念をつなぐ)
- ② 都市の魅力、住民の豊かさの創出(文化を都市づくりの源泉とする)
- ③ ローカル外交の再促進(Think globally, Act locally!)
- ④ アフターコロナ時代の交流の復活(インバウンド、観光の再興)
- ⑤ 持続可能社会の創造(SDGsの推進、大阪万博へつなぐ)

あと4ヶ月！！

2024年石川県開催  
バトンタッチに向けて  
ラストスパート！！